

# 建築デザイン科



建物は雨や風や地震から私たちの命と財産を直接守っています。テントや洞窟でも寝泊まりはできますが、一年を通しては必ずかかります。政治家は間接的に、お医者さんやお巡りさんは何かあったときにしか私たちを守ってくれませんが、建物は私たちが、ご飯を食べたり、テレビを見たり、夜寝ている間も毎日私たちを守ってくれています。

今、建築に関わる仕事をする人が足りません。人々の暮らしを守るためにあなたも建物の勉強をしてみませんか？

デザインの勉強もしてみませんか？ よいデザインは私たちの心を癒し、寄り添い、包み込んでくれるものです。

建築とデザインは、たとえその道に進まなかったとしても、あなたや周りの人の人生を豊かにしてくれる学問です。

卒業後の進路は、建築関係への就職だけではなく、大学生や公務員になる人もいます。製造業へも就職できますが、EVショック(車の電動化が進む)で将来の予測が難しいので、人手不足の続く建設業界がおすすめです。



## 建築デザイン科の卒業で、7年間も短縮されます！(二級建築士試験の受験)

建物を設計するには建築士という資格が必要です。皆さんの周りにある建物は建築士が設計しています。建築士は建物だけでなく、街並みもデザインしているといえるかもしれません。二級建築士の学科試験は、半田工科の他の科や他の高校の卒業だと7年間も建築の仕事をしてからでないと試験が受けられません。

しかし、半田工科の建築デザイン科は特別に認められているので、卒業したその年にすぐに受験できます。



## 建築デザイン科の1年生が学んでいること



技術の習得のため、木材の継ぎ手加工をしましたが、SDGsのNo12「つくる責任つかう責任」に沿うよう、ひのきブロックを作って木材を使いきるようにしました。ひのきはリラックス効果や防虫効果があるのでお風呂に入れたりタンスに入れるといいです。

## これからの建築技術

CLT(直交集成材)と言われる加工された木材で大規模な建築物が造られています。東京オリンピックの主会場で隈研吾さん設計の新国立競技場もCLTを使用しています。住友林業という会社は木材と鋼材を組み合わせた木鋼ハイブリッド構造で、2041年を目標に高さ350mの木造超高層建築物を建てる計画をしています。



## 乙川中学校の改修工事を見学に行きます!!

本校建築科卒業のデザイナー 紀藤建一さん(半田中学出身) デザインのラッピングバスに乗って12月に現場見学に行きます。とても楽しみです。

